

(任)日本地質学会 2009 年度第 6 回理事会議事録

2009 年 12 月 5 日
日本地質学会
会長 宮下純夫

期 日：2009 年 11 月 14 日（土）13:00～16:30

場 所：地質学会事務所

出席者：宮下会長，佃副会長，渡部常務理事 藤本副常務理事 井龍（16 時で退出）上砂 小嶋 齋藤 坂口 久田 藤林 向山 矢島 各理事，橋辺（事務局）

欠席者：高木副会長，石渡 岩森 倉本 小嶋 各理事

* 成立員数（12/17）に対し，出席者 12 名，委任状 5 名，欠席者 0 名で，理事会は成立。

* 前回議事録の承認

○報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，向山，倉本，坂口）

総務委員会（委員長-上砂）

報告事項

- ・日本アイソトープ協会より第 47 回アイソトープ・放射線研究発表会の共催依頼ならびに運営委員の推薦依頼：共催は例年通り承諾。委員は小笠原正継会員に依頼した。
- ・第 51 回藤原賞受賞候補者の推薦依頼：締切 1/31 →geo-flash, news 掲載
- ・東大海洋研究所から，共同研究利用公募 →geo-flash 掲載
- ・富山県ひとつづくり財団の平成 22 年度「とやま賞」の募集は，富山関係者に確認したが適任なし，その他も現在まで応募なし。
- ・日本考古学協会から，地方分権改革推進委第三次勧告における博物館法第 12 条について，反対意思表示の声明公表を行うことについて，検討の要請があった。
- ・学術会議「大学教育の分野別質保証にむけて—日本学術会議からの報告」公開シンポジウムの案内および学協会の取組みに関するアンケート（→藤本副常務から回答）
- ・学術著作権協会より日本複写権センターの調査に基づく再委託著作物使用料 2007 年度分について，分配複写使用料 47,634 円（包括分 46,848 円，FAX 分 413 円，文献提供者等期間限定契約分 373 円）が配分されることが決まった。
- ・財)交流協会（日台の科学技術交流）の事業案内：若手研究者交流・セミナーシンポジウム助成・共同研究助成 →geo-flash, news 掲載

会員関係（担当理事 向山）

- 1) 入会者 0 名
- 2) 退会者 1 名（正 1）高橋かづ江
- 3) 逝去者 1 名（正 1）堀越 叡（10 月 16 日逝去）
- 4) 10 月末日会員数
賛助 30，名誉 74，正 4228（うち院 217），準 32，合計 4364（前年同期比 -104）
- 5) 法人との兼用会員名簿への規則類の掲載について
任意団体の規則：会則・運営細則のみ掲載
法人の規則：倫理綱領（任意と同様）・定款・総会規則・運営規則・理事会規則・選挙規則選挙細則・選挙管理委員会規則・個人情報保護に関する規則・除名規則・利益相反防止規則・各賞選考規則・各賞選考委員会規則・編集規則および 3 細則
法人規則類については，Web でも掲載すること。

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

- ・第 1 回学協会会長会議（11/11）に宮下会長が出席
博物館法改正反対 →学協会会長会議として提出
科学技術政策に関する要望書 → 案文を練る
科学オリンピック →2012 日本大会への積極的支援
連合の雑誌 →2 つの e-journal (JpGU e-letter, JpGU e-review) を検討中
教員養成問題 →新しい委員会で検討開始（北里氏が委員）

会計関係（担当理事 向山）

- ・10月16日に会計委員会を開催審議内容は以下のとおり。
 - 1) 名簿印刷業者は見積もりによって創文印刷工業に決定
 - 2) 法人化に伴う預貯金移行の扱いについて確認
 - 3) 岡山大会の収支の確認，収入約831万 支出約874万 -43万
業務委託費：イベント会社費用約106万円，旅行・参加登録業務の委託費用約70万円
 - 4) 今後の年会事業について，懇親会・見学旅行費用についても年会会計のなかで実施。
 - 5) 年会業務の委託については今後も必要と考える。業者の選択については，今回の業者にもう一度委託して次々回以降の判断材料にすべき。業者に意向確認済み。
 - 6) 旅行及び参加登録についての業者委託は経済的な観点から検討の余地あり。学会の自前システム構築の可能性を検討するため，業者に見積もり依頼。システム設計等一式63万円，ランニングコストは現在のHP等の保守管理を合わせて年間44万円（15万アップ）。検討の結果，業者に発注することとした。
 - 7) 事業区分および科目分けについては検討中，12月の理事会に提出予定。
- ・11月9日 会計委員会開催
 - 1) 会計処理規則の法人版の整備
 - 2) 会計科目の検討
- ・事務局体制の強化
今年度は派遣職員で対応。

広報委員会(担当理事 倉本=情報特任・坂口)

- ・フォトコンテストのポスターを作成し，関係機関約360ヶ所に配布。
現在までの応募数150件と大幅に増えた。
- ・ニコン広報誌 Nikon Today vol.72(ジオの世界へ，会長ほか協力)が発行された。
英語版もHP上にアップされた。

2. 学術研究部会(部会長-石渡)

行事委員会(担当理事・委員長 斎藤)

- ・岡山大会について
年会の収支および今後の年会事業費等については，会計委員会報告3)~6)のとおり。
見学旅行に関する費用の扱いについては会計委員会の検討により，準備および実施のすべてを年会事業の収支として扱うこととし「見学旅行実施手続き」をまとめた。
- ・富山大会について
 - 1) 地質情報展とやま2010「北陸の大地をゆるがす地震と恐竜(仮題)」と題し，実行委員会が企画した講演会と恒例の地質情報展を合わせて，学会として科研費研究成果公開発表Bを申請。
- ・2011年度の大会について
 - 1) 関東支部においては，茨城大を第一候補で検討中
 - 2) 日本鉱物科学会の会長から，2011年の大会の共同開催の申し入れがあり，今後，両学会長で共同開催の基本線について話し合ったのちに，具体的な案を詰めていく。地質学会としては，共催となった場合には，できる限り受付や予稿集などの一本化などが望ましいこと，アウトリーチや市民向け講演会などの共催も可能であること，地質学会での年会業務の業者委託についても伝え，検討することなどを会長に要望した。
 - 3) 2011年大会のキャッチフレーズの検討を関東支部から依頼された。
地下資源や景観なども含めたジオリソースはどうか。
他のSRG，石油技術協会，地学教育学会，第四紀学会，古生物学会等へ共催を呼びかける
- ・見学旅行の実施に関する手続き(案)
文章について多少の修正を要するが，趣旨および方針については承認された。
- ・見学旅行案内書刊行について(案)
地質学雑誌編集委員会に担当者を置き，案内書編集委員会と密接に連携をとる。
冊子体の要望を出す際には企画書を提出する。
冊子体には雑誌の補遺としての引用法などを明示する。
できれば，8月号にCD-ROMを添付できるようなスケジュールで編集作業が進行するよう，当該編集委員会に要望し，大会前に大会HPからダウンロードできるようになるのが望ましい。

国際交流委員会（担当理事 石渡＝国際特任理事）

- ・モンゴルとの交流協定締結の訪問(会長, 石渡理事)報告
資源関係を中心に多数の協力プロジェクト
富山大会に招待
ジオパークには強い関心をもっている.
- ・韓国地質学会年会 (10/29-30, 済州島) への正式招待 (会長, 高木副会長) 報告
IODP などを中心に幅広く交流
韓国地質学会長を招待する必要
今年度予算で韓国第四紀学会長 Wooさんを招待

3. 編集出版部会 (部会長-久田, 小嶋, 岩森, 井龍)

地質学雑誌編集委員会 (委員長 久田 副委員長-小嶋, 岩森＝企画担当)

- ・雑誌発行状況
115-10月号: 論説3 短報3 ノート1 (56ページ・発行済み)
115-11月号: 論説3 短報1 ノート1 (60ページ・校正中)
115-12月号: 特集号「陥没カルデラ (I): 構造とマグマ」論説5 口絵1 (予定)
- ・今月の編集状況 (11月12日現在)
2009年度投稿論文 総数67編 [論説36 (和文36), 総説10 (和文10) 短報17 (和文16 英文1), ノート3 (和文3) 報告1 (和文1)] 口絵8 (英文4・和文4)
投稿数昨年比 -44 査読中編 61
受理済み24編 (うち通常号15 特集号9)
- ・編集委員の交代 (資料参照 p9)
任期終了につき下記の通り委員の交替があった. 一部後任委員については依頼中.
退任: 長谷部徳子・中江 訓・小山内康人・入野智久・渡辺真人・川村寿郎・新井田清信 (残務終了次第退任)・角井朝昭 (残務終了次第退任)・八木浩司 (残務終了次第退任)
新規 (11月1日付): 池田 剛 (九州大学)・大平寛人 (島根大学)・鎌田祥仁 (山口大学)・鈴木毅彦 (首都大学東京)・野田 篤 (産総研・地域地質部会選出企画部会)

Island arc 編集委員会(担当理事 井龍, 事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- ・編集状況報告(10/30現在) (資料参照 p10)
査読が少し遅れ気味だが, webを活用して早期公開に努力

企画出版委員会 (担当理事 藤林)

財団法人 JTB で矢島理事がジオツアーについて講演 → 探検マップが好評だった

4. 普及教育事業部会 (部会長-矢島, 藤林)

地学教育委員会 (委員長-中井均)

地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」(矢島)

生涯教育委員会 (委員長 柴)

地質基準委員会 (委員長 新妻)

地層名委員会 (委員長 天野)

- ・来年の地球惑星科学連合大会のユニオンセッションとして下記のシンポジウムを提案.
「変わる年代のものさしー日本における第四紀・第三紀を考えるー」
コンピナー: 天野一男, 遠藤邦彦, 井龍康文
- ・1月に学術会議でもシンポジウムを行う予定
- ・第四紀問題に関し News 誌, Web, geo-flash 等に第四紀問題に関する概説を掲載した.

5. 各委員会等

JABEE 委員会 (委員長 天野)

・JABEE 創立10周年記念パーティ「報告と感謝の集い」(11/25)への招待, 佃副会長出席

ジオパーク支援委員会 (委員長 天野)

・富山大会での行事を検討中

・来年の地球惑星科学連合大会に他学会との連携でセッションを提案した.

法務委員会 (担当理事・委員長 上砂)

前回理事会で提案した規則の修正
意見書について検討

名誉会員推薦委員会(委員長・担当理事 佃副会長)

- ・委員会委員の選出, 12月の理事会までに選出
役職委員 7支部長
階層別委員と理事会委員の選出
大学, 小中高, 官公庁, 会社, 理事 各1名

6. 地質の日委員会(藤林委員)

10月20日に委員会を開催.

委員長が中尾さんから平田大二さんに交代, 副会長が藤林理事と栗本さん
今年の地質の日の参加者数は今年の8万人から20万人以上へと大幅増

7. IYPE 日本(佃副会長)

- ・ファイナルイベント 3月27日-28日
会場: 富士ソフトアキバプラザ 6階
「惑星地球フォーラム2010 in アキバー君たちと考える環境・防災・資源」
記念式典 28日 11:10-16:00
第1部 セレモニー
第2部 記念講演およびパネル討論, アキバ宣言
テーマ展示 3月27日-28日 青少年対象
学会としてのイベント 地学オリンピック関係?

8. 日本ジオパーク委員会(高木委員)

- ・10月28日の委員会において, 世界ジオパークネットワークへの加盟申請は, 山陰海岸ジオパークが1か所認定され, 日本ジオパークとして下記の4か所が認定された.
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク・隠岐ジオパーク・阿蘇ジオパーク・天草御所浦ジオパーク

9. NPO 地学オリンピック日本委員会(久田)

- ・地学オリンピックの動き
国際地学オリンピック日本はつくば開催予定 複数の機関で協力
参加国や人数は国際生物学オリンピックの半分の規模
期間は8月26-9月2日を予定
- ・早急に国際地学オリンピック日本大会組織委員会を立ち上げ予定
組織委員会のもとに, 実行委員会, 募金委員会, 科学委員会などを設置
地質学会としての関わり方も検討する必要がある.
- ・国際地学オリンピックフェスティバルの開催を計画中
- ・地学オリンピックの各種委員会に地質学会からも人を派遣すべき

10. 日本学術会議(佃副会長)

- ・IYPE 終了に合わせて学術会議としてメッセージを出す.
- ・第四紀問題でシンポジウムを開催.

○審議事項

1. 地方分権改革推進委員会第3次勧告の博物館法改正にたいする考古学協会からの要請
地惑連合で出したので, 現時点で地質学会としての独自の表明はしない.
2. 地球惑星連合の定款変更における同意書の提出について
了承することとして提出する.
3. その他
 - 1) 12月の評議員会議題について
中心議題は解散の方法について
 - 2) 意見書について
法務委員会で対応することとした.